

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 JERA（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- 東京電力ホールディングスと中部電力の持分法適用関連会社（東京電力フュエル&パワーと中部電力の折半出資）。火力発電のバリューチェーン全体に係る事業を両株主グループから承継しており、国内最大の発電能力と世界トップクラスの燃料調達力を併せ持つ。両株主グループとは資本、電力取引など各面で密接な関係にあり、当社格付には両株主グループの電力事業において当社が不可欠な位置付けにあることを織り込んでいる。
- 強固な事業基盤を背景に安定した収益力・キャッシュフロー創出力を維持している。21年冬の電力需給ひっ迫時では大規模なLNGの追加調達や東西8つのLNG基地を駆使した柔軟な燃料受入など供給調整力を発揮することで、首尾よく対応することができた。将来的な課題は世界的に環境負荷低減に向けた取り組みが進む中、火力発電の低・脱炭素化と再生可能エネルギー事業の拡大である。今後も高水準の設備投資・投融資が続く見込みであるものの、財務基盤への影響は限定的と想定される。以上より、格付を据置き、見通しを安定的とした。
- 21/3期業績ではコロナ禍による影響を受けたものの、21年冬の電力需給ひっ迫時の対応が奏功、利益減少を補った。22/3期純利益は400億円（21/3期1,578億円）、期ずれ影響除きで1,200億円（同1,116億円）と底堅い展開が想定される。両株主グループへの卸売が大半を占める国内発電、長期売電契約付きを中心とする海外発電をベースに、一連のシナジー効果の発現やリプレースされた国内火力発電所の寄与などが加わることで、中長期的には収益力が高まる見込みである。今後の環境負荷低減に向けた取り組みとして石炭火力発電でのアンモニア混焼率の向上、アンモニアサプライチェーンの構築の進捗が注目される。
- 財務面では自己資本比率40%前後、DEレシオ1倍弱で安定推移を続けており、業界内でも良好な水準にある。今後は国内火力発電所の新設・リプレース、海外発電事業の拡大などを背景に高水準の設備投資・投融資が継続する計画である。有利子負債は増加する見通しであるものの、利益蓄積も進み、現状程度の財務諸指標は維持できると想定される。

（担当）殿村 成信・小野 正志

■格付対象

発行体：株式会社 JERA

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年10月22日	2025年10月24日	0.190%	AA-
第2回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2020年10月22日	2030年10月25日	0.390%	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	3,000億円	J-1+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年9月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「電力」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社 JERA
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル